■ さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまは一と～改定に向けた体制等

- 本市では、さいたまは一と(以下「本プラン」という。)に掲げている4つの柱にて自転車施策を展開してきた。一方、国では自転車活用推進法の制定や自転車活用推進計画が閣議決定されるなど、国を挙げて自転車活用の気運が高まっている。
- 本プランの中間見直し時期が、令和2年度となることから、これまでに実施してきた自転車施策の進捗を把握するとともに、国、関連計画及び自転車の活用動向を踏まえ、本プランの改定を検討する。

検討体制（案）

<さいたまは一と推進協議会>

- 1 目的
 - ・ さいたまは一とを推進していくため、市民、事業者、行政が連携し、効果的かつ効率的な事業を実施
- 2 意見を提供する事項
 - ・ さいたまは一とに位置付けられた事業に関する事項
 - ・ さいたまは一との改定に関する事業 **要綱追加予定**
 - ・ その他本市の自転車活用に関連する事項

学識経験者、自転車関連事業者、交通事業者・運送事業者、交通安全事業者、行政(埼玉県警・埼玉県) 合計20名

十 改定に向けたオブザーバー

(オブザーバー予定) 例:スポーツ及び観光分野等

現状及びプラン案等の提示 ↑ ↓ 意見聴取

(仮称) さいたまは一と改定庁内検討会 ※庁内課長級

主な改定のポイント

- さいたまは一と中間見直しの位置付けによる改定
 - これまでの事業による成果及び効果の検証
- 自転車活用推進計画に位置付けた法定計画
 - 自転車活用推進計画との整合性
- 広域的な自転車活用、多種多様な自転車の到来等
 - サイクルツーリズムの推進、新たなモビリティの活用

今後のスケジュール

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
・現状と課題の整理 ・改定ポイント ・推進協議会 ・庁内検討委員会	・改定プラン(たたき台)の作成 適宜開催	・改定プラン(素案)の作成 ・戦略会議 ・パブコメ	・改定プラン策定